

平均値を超えたところにあるもの

—ターゲットデート戦略における頑健なガイドパスの設計手法—

Lorie Latham、Zachary Rayfield、Kathryn Farrell、Jim Tzitzouris (著)
瀧川 一 (日本におけるコンタクト先)

目 次

1. はじめに
2. 「平均」という全体最適の誤謬
3. 多様な加入者向けガイドパスの設計
4. 「長寿リスク」が設計上の要素として一層重要に
5. 分布に基づくインプットの効果
6. まとめ

1. はじめに

確定拠出型年金 (DCプラン、以下、DC) で先行する米国ではターゲットデート戦略が政策的に広く普及しているが、その設計には課題もある。

DC加入者の貯蓄や収入の状況、健康状態などは個人差が大きく、加入者の許容リスクや必要リターンも幅広く分布している。しかし多くのファンドではこうした多様性が十分に考慮されず、ガイドパス設計で用いるデータインプットは単に母

Lorie Latham

ティー・ロウ・プライス、シニア確定拠出ストラテジスト。

Zachary Rayfield

ティー・ロウ・プライス、マルチ・アセット・クオンツ投資アナリスト。

Kathryn Farrell

ティー・ロウ・プライス、ポートフォリオ・スペシャリスト。

Jim Tzitzouris

ティー・ロウ・プライス、マルチ・アセット・リサーチ・ディレクター。

瀧川 一 (たきがわ はじめ)

ティー・ロウ・プライス・ジャパン、グローバル・マルチ・アセット部門アジア太平洋地域ソリューションズ・ストラテジスト／ポートフォリオ・マネジャー。

